



多世代の人々がつどい一緒にごはんを食べて、経験豊富なおもしろい大人たちが、あちらこちらからやってきた未来ある子どもたちを見守り育てるところ。その子ども達のために自分ができることの何かで”役に立ちたい”と思う仲間達の居場所。大きな家族のようなこども食堂、それがミーム clubです。ココロとカラダを育み、出会いを通してみんなの可能性が広がることを願っています。



NPO法人  
すてきなまち・  
赤岡プロジェクト

高知県には、幕末の絵師・金蔵によって描かれた芝居絵屏風を夏祭りに飾り楽しむ風習が見られます。中でも香南市赤岡町では唯一、町家の軒下に屏風を置く独特のスタイルで飾られます。しかし、町の衰退に伴い、伝統的な町家は減少の一途を辿っています。そこで私たちは、町のシンボル「赤れんが商家」を拠点に、町家の保存・再生、まちの担い手育成に取り組むことから、絵金文化を未来へ継承することを目指して活動しています。

認定特定非営利活動法人  
**NPO高知市民会議**

「高知市市民活動サポートセンター」の運営を軸に、様々な分野の市民活動団体が継続して取り組みを進めていくような支援を行っています。市民一人ひとりが持つ「社会を変える市民のチカラ」を支え、育み、伝え、繋げるさまざまな事業を展開。また、ワカモノの「やってみたい」を応援する取り組みも行っています。



NPO法人  
路上生活者等の支援団体です  
**こうちネットホップ**

ホームレス（路上生活者）の存在をご存じでしょうか？現在、高知市内に約10名の方がいます。10数年前には、50人近くの方が生活していました。わたしたちは、こうした路上生活者の支援を中心に、貧困問題解消に取り組んでいます。主な活動は、月1回の「夜回り」活動で対話・相談にのり、居宅生活への復帰の支援、貧困問題に関する学習・講演会、貧困問題のネットワークの拡充に取り組んでいます。また、2022年1月、路上生活者やDV被害者などの一時避難場所ニシェルター「ステップハウス」（2部屋）を開設しました。



**やいろう鳥の会**

2006年ひきこもりの子どもをもつ親達によって設立され現在会員数は130家族。ひきこもりで苦しむ家族に相談、学習会、居場所、試験就労などの支援の手を差し伸べている。ひきこもることで孤立していく家族は多く、孤立することでSOSを出しにくくなる。そんな家族が希望に繋がれるように活動している。2020年からは高知県の委託事業で、ひきこもりの経験者が相談や支援に従事するひきこもりピアサポートセンターを運営している。

ひとりで悩まないで



認定NPO法人  
**こうち被害者支援センター**

犯罪の被害に遭った方やそのご家族からの電話相談、面接相談、裁判所や病院等への付添いなど直接的支援及び被害者の心身の回復に向けた支援を行っています。2007年4月設立から16年目となります。犯罪被害者に寄り添う支援をこれまでにも、これからも犯罪被害に遭われた方が助けを必要とする限り、支援活動を通じて地域社会の安全に寄与することを目指しています。